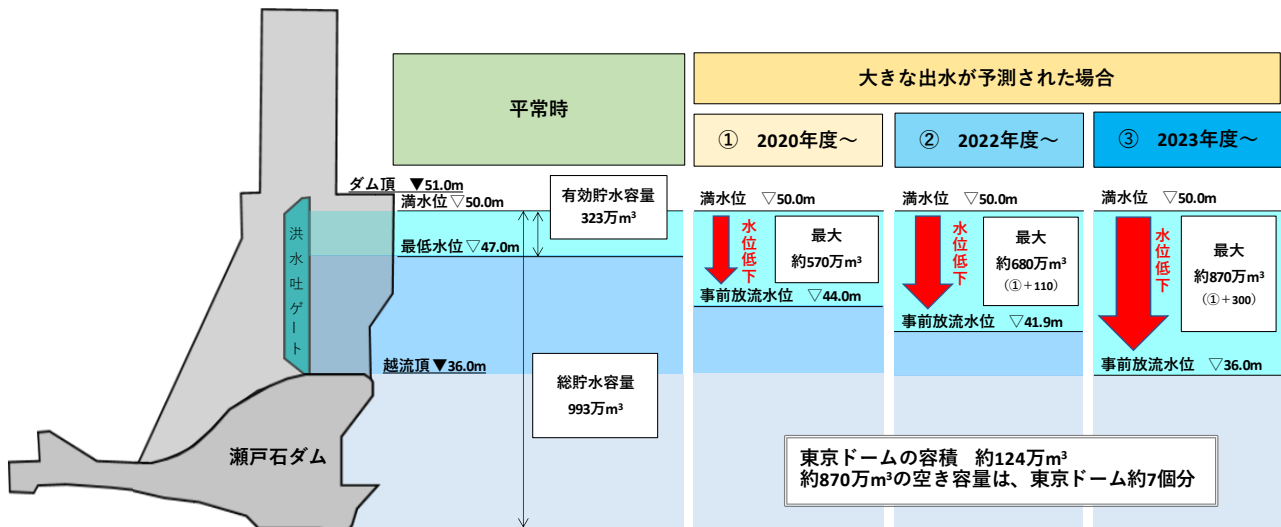


瀬戸石ダム 事前放流による水位低下



(注) 図中に記載の事前放流水位や空き容量は、最大の場合を示しており、気象予測や実際の出水状況により変更となります。

- 瀬戸石ダムでは、大きな出水が予想される場合、2020年5月に河川管理者、ダム管理者および関係利水者との間で締結した「球磨川水系治水協定」に基づき、事前放流による水位低下により調整池の空き容量を確保するとともに、通砂／排砂により同容量の維持・拡大を目指す運用を実施しています。

なお、2023年度より、6月から9月までの間、通砂／排砂効果の更なる拡大を目指し、事前放流水位を最大でEL.36mまで低下させます。

- 2023年度の事前放流の実施状況は、以下のとおりです。

No.	出水要因	水位低下期間	到達水位	確保容量
①	梅雨前線	6月5日～6月8日	EL.38.45m	821万 m^3
②	梅雨前線	6月29日～7月5日	EL.37.89m	834万 m^3
③	台風6号	8月6日～8月10日	EL.36.54m	865万 m^3

- 今後も事前放流による水位低下を確実に実施し、流域の安全・安心に貢献してまいります。